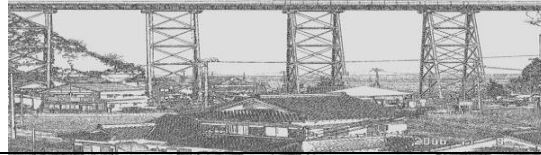


鉄橋

～心の架け橋～



第 440 号

平成 30 年 4 月号の 1

香美町立余部小学校

〃 御崎分校

〃 余部幼稚園

2018 年度(平成 30 年度)がスタートしました

厳しかった冬も終わり、温かな日差しが心地よい春になりました。余部幼・小・分校の新年度が始まりました。入園式、入学式にはたくさんの方のご臨席をいただき、子どもたちは元気にあいさつや返事をしていました。進級した子どもたちも、やる気に満ちた顔で新年度をスタートしてくれました。

本年度は平成 32 年度実施される「新学習指導要領」の施行期間になります。余部小学校も 3・4 年生「外国語活動」5・6 年生「外国語科」が教育課程に入ります。※「新学習指導要領」のポイントは裏面に掲載しています。

小学校の学校教育目標「ふるさとを誇りに 未来に向け 主体的に学び、挑戦する余部っ子の育成」としています。ふるさとにある人・自然・文化等に触れ、好きになることが誇りへとつながると思います。また、変化の激しい時代を生きるためには、主体的に勉強や物事に当たることが大切になってきます。そして、自分の可能性を伸ばすためにいろいろなことに挑戦し最後まであきらめないことが大切です。そして、挑戦できる学級や学校でありたいと考えています。

保護者、地域のみなさまと今まで以上につながり、子どもを中心に据えて教育をすすめたいと考えています。本年度もご理解とご支援を賜りたいと存じます。

平成 30 年度 余部幼稚園入園式

個人情報保護のため、
写真の掲載を控えます

4 月 9 日(月)桜満な中、
余部幼稚園の入園式を行
ないました。

さくらぐみ(年長)2 名、う
めぐみ(年少)3 名 合わせ

て 5 名の入園児を迎えました。一人ひとりの名前を呼ぶと、大きな声で「はい」と返事してくれました。

たくさんの地域の方にお越しいただき、温かな祝辞をいただきました。3 月に 3 名の卒園児を送り出し、年少がいなかったため、元気いっぱい 5 名を迎え、幼稚園に再び活気が戻ってきました。

年少・年長の園児が遊び、運動、行事や他園との交流、地域の方との交流を通じて、『気づき』『思いやり』を育み、元気で明るい余部っ子となるよう、全力で取り組んでいきたいと思っています。

平成 30 年度 余部小学校入学式

個人情報保護のため、
写真の掲載を控えます

4 月 10 日(火)あたたかな
日差しが心地く感じられる
中、余部小学校の入学式を行
いました。

本校 2 名、分校 1 名 合わ
せて 3 名の入学児童を迎え
ました。

少し緊張気味でしたが、しっかり前を向いて、その顔は、小学生として今日からがんばるぞ、という希望と、やる気に満ちていました。迎える 2 年生以上の児童も温かなまなざしで見守ってくれていました。校歌も周りの声に合わせて一生懸命歌おうとしていて、見ていてとてもたのしく感じました。

6 年間しっかり育み、この小学校で学んでよかった、この仲間と一緒に過ごせてよかったと感じ取ってもらえるよう、連携して教育を進めたいと思います。

※たくさんのご来校をお待ちしています。

学校版教育環境会議 十四時から
本校多目的室

学校版教育環境会議
オープンスクール
平成三十年四月二十八日(土)
授業参観 本校 十三時
分校 十二時四十五分



裏面もご覧下さい

個人情報保護のため、
写真の掲載を控
えます

離任される先生方「お世話になりました」
長い間、余部幼・小・分校の教育活動にご尽力
いただいた三名の方をお送りいたしました。

〔異動される先生方〕

西村美雪先生→新温泉町立照来小学校

谷口幸枝先生→香美町立小代認定こども園

山本一美さん→香美町立香住小学校

着任者の紹介

田中雅世（新温泉町立浜坂北小学校より）

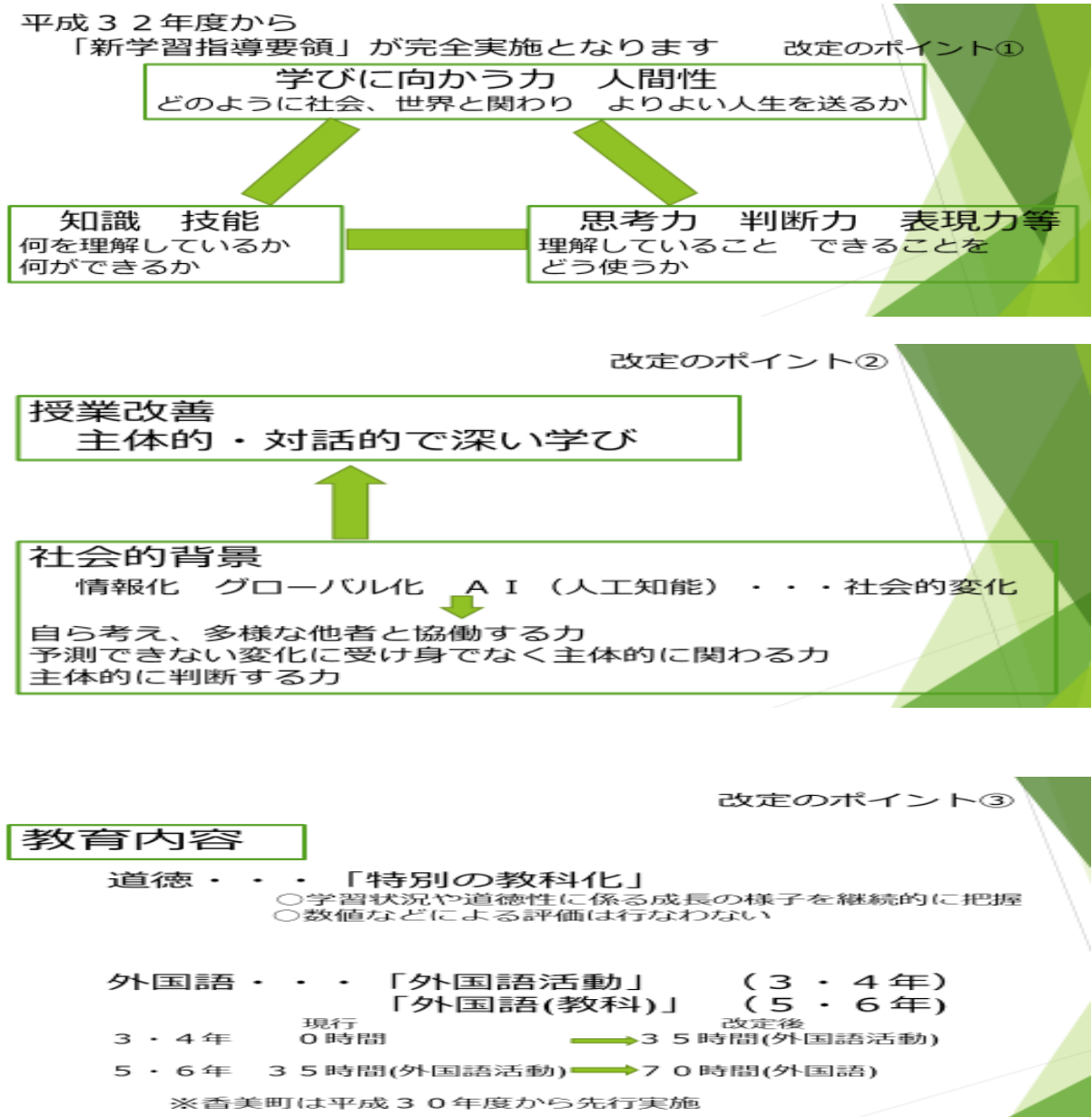
池田まどか（香美町立長井幼稚園より）

池田幸枝（香美町立柴山小学校より）

新スタッフを迎え、気
持ち新たに、子どもを
中心に据え、全力で教
育にあたります。

平成 32 年度（2020 年度）から「新学習指導要領（小学校）」が完全実施されます。平成 30・31 年度は移行期間となります。前回の改訂は平成 20・21 年度でした。

今回の改訂は、情報化やグローバル化といった社会的な変化や予測できない変化に受身ではなく、主体的に向き合い、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力を育てるという趣旨があります。



コラム

「さいたさいた チューリップの花が ならんだならんだ あかしろきいろ どの花見ても きれいだな」
誰もが知っている童謡「チューリップ」の歌詞です。

チューリップの花にはいろいろな色があつて、どんな色であってもそれぞれに良さがあり、様々な色があることによつて、互いの良さが際立つてくるという意味があるように取れます。

この歌は、近藤宮子さんが昭和五年に作詞したものです。「どの花見てもきれいだな」という歌詞には『何事も良いところがあり、みんなの良いところを見つめ合おう』という気持ちをこの歌に託したと言われています。

余部という土地に育ち、幼稚園・小学校で芽吹く子どもたちの良さを互いに認め合い、それぞれの個性を伸ばしていくことの大切さを心がけていきたいと思えます。

チューリップの花言葉は、『思いやり・博愛』です。春に咲く代表的な花であるチューリップにはこんなエピソードがあつたのです。

ちなみに、近藤宮子さんは「チューリップ」の他に、童謡「こいのぼり」も作詞されています。

※「チューリップ」の二番の歌詞は『ゆれる ゆれる チューリップの